

糖尿病だより



糖尿病と皮膚のトラブル

皮膚は、「人体で最大の臓器」ともいわれており、糖尿病とも深い関わりがあります。皮膚は、目で見ることでできるので、異変があるときはすぐに気づくことができます。

①糖尿病そのものによって起こる皮膚疾患

- ・ 足白癬・・・真菌感染症（水虫）
- ・ 細菌感染症・・・おできや膿瘍をつくってしまう
- ・ 皮膚そう痒症・・・皮膚炎を繰り返したり掻き壊して悪循環になる
- ・ その他の皮膚トラブル・・・糖尿病を疑うような皮膚疾患



②糖尿病による血管障害や神経障害に伴う皮膚疾患

- ・ たこ・うおのめ・・・力がかかる部分の皮膚が厚くなる
- ・ 低温熱傷（やけど）・・・感覚の低下から、温度に気がつかず火傷する
- ・ 小さな切り傷・・・視力障害により、爪切りで皮膚を傷つけ、そこから感染してしまう。

③糖尿病治療薬によって起こる皮膚疾患

- ・ 水疱性類天疱瘡・・・DPP-4阻害薬を内服しているとなりやすいと知られている。
体に水ぶくれが多発します。

※DPP-4阻害薬・・・グラクティブ・ジャヌビア・テネリア
スイニー・オングリザ・トラゼンタ
ザファテック・マリゼブ



裏へ

★まずは、トラブルの起こりやすい

「足」からチェックしてみましょう

かゆみ以外の皮膚のトラブルは目で見たり、手で触れたりできるものです。いきなり、全身からチェックするのは大変なので、まずは、トラブル頻度の高い「足」からチェックするようにしましょう。トラブルは、深刻な状態になってから対処するよりは、軽いうちに対応する方が簡単に解決できます。



★チェック★

- 傷がないか
- たこ・魚の目はないか
- かき傷がジクジクしていないか
- 赤く腫れたり、膿が出たりしていないか
- 巻き爪はないか
- 水疱（水ぶくれ）はないか

心配な症状があるときは医師・看護師に相談してください。